

平成27年度 7月定例会会議録（概要）

- ◎招集年月日 平成27年7月22日（水）
◎開催日時 平成27年7月30日（木） 午後3時30分～午後5時40分
- ◎場 所 伊那市役所 議会第2委員会室
◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、平澤教育委員、田畑教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、酒井スポーツ振興課長、森田高遠長谷教育振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

- 1 開 会（教育次長）
- 2 委員長あいさつ
- 3 委員の一言（田畑委員）
- 4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
（質疑なし）

第2 議案

議案第1号 平成28年度使用小学校及び中学校用教科用図書の採択について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長が諮ったところ、提案のとおり採択された。

第3 報告事項

（1）第5回中学生サミットについて

- ・資料に基づき中村指導主事説明
- ・委員長から、教育長の講評に合せ教育委員から一言ずつ言葉をいただくよう指示があり、閉会行事に組み込むこととされた。
- ・委員から、市長との懇談内容が多くの項目に触れての言いつ放しで終わってしまうことが危惧される。テーマを3つくらいに絞り中学生の自主的な発言で進行することはできないか要望が出され、中村指導主事より、本来、テーマに沿ってその場で発言ができればいいが難しい面もある。事前にテーマを子どもたちに提示し発言項目を集約、編集したものであるとの説明があった。

- ・委員長から、項目が多すぎ深まらない。中学生なりに伊那市政に参画する提案とするためのサミット運営として欲しいと質問があり、中村指導主事より、子どもたちが自分たちの生活に身近で実感を伴ったものを大事にしたいという思いから項目選択しているとの説明があった。
- ・宮脇職務代理者から、子どもたちが自主的にコーディネートするのは難しいかもしれないとの感想が述べられた。
- ・委員長から、例えば「歴史と文化」の発信の仕方を話し合うだけで30分かかる。項目が多く、発表会のレベルに留まっており、サミットの盛り上がりには欠け本音が出てこないとの発言があった。
- ・委員から、進行役は中学生でないといけないか質問が出され、委員長より、中学生がやった方がいいとの発言があった。
- ・委員長から、現在策定している地方創生総合戦略に関わるような中身を生徒が意識せずに出してくる。そうしたことが大事で、参加生徒が3年すれば選挙権を得ることを見据え、自らの判断で選挙できる生徒を育てて行く必要がある。シナリオ先行でない突きつけられた状況付与も必要との発言があった。
- ・委員から、事前資料としてシナリオ配付のうえ、サミットの中で、住みたい伊那市はどんな伊那市か、議長の中学生在が自主的な発言を求め、それを市長が受け止めてくれればよいとの発言があった。
- ・教育長から、伊那市の魅力を考えて時、1つめに自然と歴史がある。高遠・長谷地区に対して、自分たちの学区ではどうだろうと考えられる。2つめは、安心安全な生活を送ること。3つめには働く場所の問題。司会の生徒がそういうイメージを持って進行すれば、3つ位のテーマにくくれるとの意見があった。
- ・委員長から、開催まであとわずかでは修正できないのであれば、今回はそのまま実施する。次回からは、教育委員会でサミットをどう持っていくか議論し、生徒の育ちに関して課題発見力とか自治能力の伸長を図るとする目的に沿った計画を立てるようにしないとけない。教育委員会で訂正ができるよう時間的余裕を持って報告するよう指示があった。

(2) 伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」について

- ・資料に基づき中村指導主事説明
- ・委員長から、7月11日長谷中学校を会場に行われた台湾からの大学教授、農業関係の研究所職員、県庁農政部の職員等で構成する農業視察団の様子について、新山小学校の白毛餅についての発表を熱心にメモし連続した質問がなされたこと、長谷中の農園視察では「素晴らしい。」との感想が述べられたことが報告された。両校以外の学校も遜色なく取り組んでおりありがたい。また、内山節先生の考えを大事に受け止め、更に活動を深化させていきたいとの発言があった。
- ・教育長から、夏休みに入り、課題として、草取り、水やり、収穫の3点がある。教頭会で話題にし、特に収穫については、収穫の時期を夏休みからずらす計画を立てているところもある。収穫物を無駄にしないよう、昨年までと変更した取り組みとなっているとの発言があった。
- ・委員長から、子どもたちが植え付け、育てた野菜の収穫が夏休みに集中したので

は、十分収穫できない。それを改善するにはどうしたらいいか考えて、植え付けの時期をずらす。そこに考えが及べば畑がみえてくる。最初は収穫物を無駄にする経験をし、何とかしなくてはいけないと考え、植え付け時期をずらすことが農家の知恵。内山先生の言う多様性。そうしたことに子どもたちが気付く本物になっていけばいいとの発言があった。

(3) 平成27年度成人式について

(4) 第3回千両千両井月さんまつりについて

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、井月シンポジウムのパネラーはどういう方か質問が出され、生涯学習課長より、岡谷市出身の教育関係者、長岡市出身の元NHKプロデューサー、駒ヶ根市出身の俳人誌主催者等であるとの説明があった。
- ・委員長から、市内の小学校・中学校で投句のない学校に指導、助言しているか質問が出され、生涯学習課長より、毎年依頼し校長会でも依頼しているが、各校の都合があると思う。確認するとの説明があった。

(5) 第2回信州いなクロスカントリーレース・第5回伊那市トリムマラソン大会について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

(6) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

(7) その他

伊那市子ども子育て審議会の委員について

- ・委員長が平澤委員を継続推薦することについて諮り、承認された。

5 その他（教育次長）

(1) 8月の日程について

(2) 9月の主な日程について

- ・主幹指導主事学校訪問 9月4, 7, 11, 14～16, 30日
- ・市民体育祭 9月6, 13, 27日
- ・小学校運動会 9月12, 19, 26日
- ・9月定例教育委員会 9月28日（月） 午後1時30分～

6 閉 会（委員長）